

観光社会資本の事例

テーマ	三宝下水処理場の下水処理水で育てられたアジサイ
<p>【施設の状況写真】</p> <div data-bbox="150 412 927 987"></div> <div data-bbox="959 748 1442 913"><p>古い施設ですが、敷地内部に約1000株のアジサイが栽培されています。栽培にあたっては下水処理場から毎日発生する下水処理水を用いています。</p></div>	
<p>【施設の利用写真】</p> <div data-bbox="181 1070 671 1435"></div> <div data-bbox="150 1447 700 1541"><p>幼稚園・小学校の遠足にも好評で、観光バスの駐車場確保も一苦労。</p></div> <div data-bbox="871 1079 1350 1435"></div> <div data-bbox="828 1447 1378 1541"><p>園芸好きの方々に珍しがられる品種もあり、写真家もしばしば見受けられます。</p></div>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>三宝下水処理場内のアジサイ公開は、近年堺市内の住民だけでなく京阪神地域の人々にも周知されるところとなり、公開前にはテレビ・ラジオ等でのPRも行われています。宣伝の効果もあってか、訪れる観光客は毎年増える傾向にあります。平成17年度は約1万3000人の方々が訪れました。</p> <p>三宝下水処理場には約50種類のアジサイが栽培されており、日本では非常に珍しい品種も見られます。また、栽培にあたっては下水処理場で発生する下水処理水を用いており、下水処理水の再利用も行われています。公開期間はアジサイの開花状況によりますが、毎年5月下旬～6月上旬より9日間となっています。</p>	

テーマ 三宝下水処理場の下水処理水で育てられたアジサイ

【社会資本の基礎データ】

名称 三宝下水処理場
 所在地 堺市松屋大和川通3丁、4丁
 事業名 公共下水道事業
 事業主体 堺市上下水道局下水道部
 事業期間 昭和38年～平成9年

【社会資本の役割・効果】

堺市内にある公共下水道の終末処理場の一つとして、日量約80,000tの汚水を処理しています。また、合流式下水処理場であるため、雨天時には内水排除のポンプ場としての機能も果たし、低平地の大阪平野の一部である堺市域の浸水対策にも役立っています。さらには、毎年多くの方々が訪れアジサイを見ていただいているとともに、下水処理水の再利用のPRなどの効果もあります。

【位置図】



【関連ホームページ】 堺市上下水道局HP <http://www.water.sakai.osaka.jp>